

狭山が発祥の地

童句

●母愈えて より風鈴の よく鳴れり
いのこずち 道草母に 叱られる 金子 裕美
さよならの 上げた手に来る 赤トンボ 芝田 恵美子
もう一つ 苺のあるはず 梅火搔ぐ 計良 緑
いなごどり 捕らえし背にも 跳びかかる 原島 純子

落葉たく マツチの手にも 散りしきる
土家 由岐雄子

※童句は、土家由岐氏(入間川)が創始し全国に広がりました。大人が童心に返って子どもの生活や感情を詠う俳句のことです。智光山公園で行われた今年の童句まつりに、全国から寄せられた作品から選ばれた入選句の最後の一旬(●印)とそのほかに選出した5句を掲載します

AET CORNER



Christina Engler (AET)

Hello. I am from New Jersey State in America. Even though America is a small state we have a very large population since two large cities border New Jersey, New York City and Philadelphia. Many people live in New Jersey, but work in the city. My hometown, Short Hills, is smaller than Sayama and what you might call a "bed town." There are only homes and many trees in Short Hills. I have been in Sayama for almost three months and I feel welcomed and very much at home. At Kenyon College in Ohio, from which I recently graduated, I studied English Literature and Sociology. This is my first time to Japan and I am learning so much with each new day. Everyone in Sayama has been so helpful, especially the students at Higashi Junior High School where I am teaching. The students are very intelligent, and full of energy which makes for a wonderful teaching environment. I am happy to be living and working in friendly Sayama and am looking forward to the year ahead.

池原 昭治の

さやまの年会本

19



義貞伝説あれこれ

むかし(鎌倉時代のころ)新田義貞が元弘三年(一二三三)五月八日、群馬県新田の生品明神で旗上げをして、鎌倉を攻めました。十日には入間川に到着し小手指が原へと向かいました。そのときの、義貞伝説の場所が市内にはいくつあります。まずは、入間川八幡神社の境内にあります「駒つなぎの松」。これは義貞が神社に戦勝祈願したとき、乗っていた馬をつないだ松だそうです。

柏原の永代寺のうら山あたりは義貞が陣屋をかまえたところといわれ「御所の内」とい「新田の館」というところもあります。そして、奥富の瑞光寺には武運祈願したときにおさめられたといわれる「義貞の太刀」があるといわれています。
また、「おおさむ観音堂、観音堂で火がもえる、山から小僧が泣いてきた……」というわらべうたが水富の篠井にあります。

これは義貞軍の兵士が観音堂の境内でかがり火をたいたことからうまれた唄だといわれています。

この広報紙は自然保護のため再生紙を使用しています

お・茶・香・る・ま・ち

さやま

[狭山市広報]

VOL.496

◆発行日／平成8年11月10日 (毎月10・25日発行)

◆編集・発行／狭山市役所企画財政部秘書広報課

〒350-13 埼玉県狭山市入間川1-23-5

TEL.0429-53-1111 (内線386)

FAX.0429-55-9713